

## 「人はミスをするもの」

日頃みなさんは、どれくらい自動車と関わりがありますか？

人によってその関わり方に違いはあっても道路を使用する限り、自動車を運転する時はもちろん、歩くときも自動車と接しているはずです。

「いってきます」、「行ってらっしゃい」と家を出たならば、だれもが笑顔で帰宅したいものです。安全であってあたりまえなはずですが安全は保証されてはいません。安全を願っていても事故は起きています。

私たちは事故の可能性を0にすることはできませんが、事故の確率をできる限り減らすことはできます。では、どのような運転をすればよいのでしょうか。

人はミスをするものですが、たまたま起きたエラーよりも、事故の大半はその人の普段の行動や習慣からもたらされています。

「少しくらいなら・・・」、「こう走っている人も多いから・・・」と、どうしても自分にあまくなってしまいがちです。それがあたりまえになってしまうと自分では気づきにくくなってしまうものです。

安全運転中央研修所では、安全運転について皆さんに考えていただき、どうすれば安全運転を続けられるのかを楽しく学べるところになっています。

是非、研修にいらしてください。心よりお待ちしております。



実技教官 時田 智